

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	パターン認識						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	勝瀬 郁代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・パターン認識とは何かを理解している ・パターン認識システムの基本的な構成と各処理の主な役割について理解している ・代表的な認識方法の基礎を理解し、実践できる 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義－講義全体の概要（目標、講義の進め方、評価の仕方）を説明する。</p> <p>第2回：演習1－k-NN法を使って、機械学習の手順を実際に経験する。</p> <p>第3回：演習2－決定木の学習について解説し、wekaを使って決定木の学習を行う。</p> <p>第4回：演習3－ベイジアンネットワークについて解説し、ネットワークの生成を行う。</p> <p>第5回：演習4－ロジスティック識別モデルについて解説し、識別器の生成を行う。</p> <p>第6回：演習5－ニューラルネットワークについて解説し、学習と識別を行う。</p> <p>第7回：演習6－サポートベクタマシンについて解説し、学習と識別を行う。</p> <p>第8回：講義－これまで学習した手法の概要・特徴について復習し、これから学習する内容について概観する。</p> <p>第9回：演習7－回帰について解説し、wekaを使って回帰関数を作成する。</p> <p>第10回：演習8－クラスタリングについて解説し、実際にクラスタリングを行う。</p> <p>第11回：演習9－パターンマイニングについて解説し、買い物の特徴抽出を行う。</p> <p>第12回：演習10－深層学習について解説する。</p> <p>第13,14回：復習と総合演習－wekaを使って総合演習を行う。</p> <p>第15回：定期試験</p> <p>第16回：定期試験の解説</p>						
成績評価基準	定期試験	30%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	70%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	合格率96%(定期試験受験者中不合格者1名のみ)。十分達成したといえる。						
反省点	今年、各単元をきちんと理解しているかどうかを確認するために、文章で説明させる課題を多く出した。提出された文章は本当にひどく、3年後期にもなって日本語も正しく書けないのかと危機感を覚えたので何度も書き直しを求めた。それ自体は問題ないのだが、授業の中で同じことを何度も何度も繰り返して説明することになり、すでに理解している学生には申し訳なかった。						
来年度の計画	来年は最後の開講である。近年、「興味はないが単位が必要だから」ではなく「この内容を学びたいから」履修する学生が増えているので、今年は少し発展的な内容を取り入れた。来年度は、履修者の状況を見て、さらに発展的な内容にしたいと思う。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.5であった。受講者数が少ないため、同じような授業内容でも、年によって変動が大きい。よくもなく、悪くもなく、といったところ。						
履修登録者数	27名	定期試験 受験者数	23名	合格者数	22名	合格率	96%